

素晴らしい創基145周年記念式典・コンサートとなりました！！

4月20日（土）晴天、午前10時から中学ハンドベル部の前奏で始まった創基145周年記念式典では、讃美歌79番を賛美後、森野宗教主任の聖書拝読、祈祷があり、聖歌隊による「主をほめよ」の賛美がありました。

式辞では理事長が、遺愛創基・創立の由来を述べた後、北海道最初の女性医師ハミスファー宣教師、校訓『信仰・犠牲・奉仕』を定め、函館盲学校・聾学校の前身である訓盲院を支えた遺愛女学校第4代校長デカルソ宣教師、1934年の函館大火の際に『鈴蘭園』を設立し、被災者の御世話をした音楽教師ワグナー宣教師の足跡をたどりしました。3人の宣教師は、遺愛での教育活動だけではなく、函館のために大きな愛の働きをし、「信仰・犠牲・奉仕」の精神を自ら体現し、生徒・教職員に大きな影響を与え、今もしっかりと受け継がれていることを話しました。

その後全員で、創基功労者ハリス夫人作詞の讃美歌343番を賛美し、同窓会長 成田恭子様、生徒会会長 曾根涼さんの「慶びの言葉」がありました。

式典には1,200名以上の出席がありましたが、830名の生徒の皆さんが、顔をあげてしっかりと式辞・祝辞に耳を傾け、大きな声で讃美歌を歌う姿に、来賓の方々が口々に賞賛の声を寄せて下さいました。

式典後には記念コンサートがありました。ジャマイカ出身のゴスペル歌手であるジョン・ルーカスさんが、ハンドベル部・音楽部とのコラボもまじえながら、「アメージング・グレイス」、「ふるさと」、「翼をください」、「上へ、前へ」、「Oh Happy Day」などを歌って下さり、会場はおおいに盛り上がりしました。

87歳になる同窓生が、「今までで一番楽しく、充実した式典でした。」とおっしゃって下さり、本当に嬉しく思いました。労して下さい、生徒・教職員の皆さんに心から感謝です。

2019年4月24日（水）



ハミスファー宣教師



デカルソ宣教師



ワグナー宣教師